

第22回ジャパンデフバレーボールカップ川崎大会 開催要項

1. 名 称

第22回ジャパンデフバレーボールカップ川崎大会

2. 目 的

全国のデフバレーボール選手が技を競い、心身の鍛錬と連携、協調の精神を養い、デフバレーボールの健全な普及を図り、聴覚障がい者自身の自立と積極的な社会参加を促進し、あわせてデフスポーツに対する正しい理解を深めることを目的とする。

【この大会は beyond2020 プログラムに認証されました。(※1)】

この大会は、令和2年度スポーツ振興基金助成金を受けて開催いたします。

3. 開催期間

令和3年 2月20日(土) ～ 令和3年 2月21日(日)

大会1日目 15時～16時 代表者会議(状況によりweb会議も検討します)

大会2日目 9時～17時 トーナメント戦・表彰式・閉会式

4. 会 場

川崎市とどろきアリーナ

5. 主 催

一般社団法人日本デフバレーボール協会(以下 JDVA略記)

6. 共 催

川崎市・公益財団法人川崎市スポーツ協会・川崎市バレーボール協会

7. 主 管

第22回ジャパンデフバレーボールカップ 川崎大会実行委員会

8. 競技主管

JDVA大会運営部・一般財団法人神奈川県バレーボール協会

9. 後 援(未定)

神奈川県・川崎市教育委員会・川崎市障害者スポーツ協会

公益財団法人日本障がい者スポーツ協会・一般財団法人全日本ろうあ連盟

10. 協 賛(未定)

大塚製薬株式会社・オンヨネ株式会社・株式会社ニトムズ・ファイテン株式会社

株式会社ミカサ・ユニカ食品株式会社

11. 協力団体・企業(未定)

社会福祉法人川崎市社会福祉協議会・富士ソフト企画株式会社・株式会社ケイアイピー

セノー株式会社、株式会社ミカサ

1 2. 参加資格

1. 選手はJDVA会員かつ聴覚障がい者で、中学生以上（令和2年4月1日現在）であること。
2. 聴者はJDVA会員であれば、スタッフ（監督・コーチ・マネージャー等）として参加できる。
3. 大会2週間前から当日までの、体温測定の記録提出に同意すること。

1 3. 競技規則

1. 当年度の公益財団法人日本バレーボール協会6人制競技規則による。
2. 使用球は、公益財団法人日本バレーボール協会検定5号球カラーボールを使用する。
（男女ともミカサを使用する。V200W）
3. ネットの高さは男子（2m43cm）、女子（2m24cm）とする。

1 4. チーム構成

1. 1チームの人数は、監督・コーチ含むスタッフ4名、選手14名以内、計18名以内とする。
2. 12名を超える選手構成になる場合、リベロは必ず2名登録しなければならない。
* 12名以下の選手構成の場合、リベロなし・1名・2名のいずれかで登録できる。
3. リベロは、各試合ごとに変更できる。
4. 監督、コーチまたはスタッフが選手を兼ねる場合は、選手登録名簿に記載しておくこと。

1 5. 競技方法

競技は、トーナメント戦で行う。全試合3セットマッチとし、3セット目は15点を上限とする。
※トーナメント戦の試合形式については、主催者側で決定する。
※促進ルール等については、競技実施要項に従い代表者会議で説明を行う。
※交流試合は実施しない。
※試合運営については、追い込み方式は行わず、試合開始時間を設定しフロア内が密にならないようにする。

1 6. 組合せ

本大会の組合せは、大会実行委員会において、競技委員長立会いの下で適正に行う。
※ 2月上旬にJDVAホームページ（<http://www//jdva.ne.jp/>）上で周知するとともに、チーム代表者にはメールで通知する。

1 7. 申込方法及申込期限

「第22回ジャパンデフバレーボールカップ川崎大会参加申込書」をJDVAホームページよりダウンロードし、令和2年12月20日（日）までに、メールで申し込むこと。

1 8. 選手変更・抹消・追加について

申込締切日（令和2年12月20日（日））まで、選手変更・抹消・追加をすることが出来る。締切日以降は、選手の追加・抹消は行うことができない。（プログラムへの記載は変更できない）選手の変更は別途ガイドラインに従ってください。

19. 表彰

表彰は次のとおりとする。

〈団体〉

成績	表彰内容
優勝チーム	チームに賞状，選手全員に金メダル授与
準優勝チーム	チームに賞状，選手全員に銀メダル授与
第3位チーム	チームに賞状，選手全員に銅メダル授与

※ 表彰式は閉会式において行う。

※ フロアでのチーム記念撮影は許可する。

〈個人〉

成績	表彰内容
MVP	表彰選手に賞状と記念品授与
ベストプレイヤー	WS・MB・OP・S・L各表彰選手に賞状授与
最優秀監督賞	表彰監督に賞品授与

20. 新型コロナウイルス対策

新型コロナウイルス感染症の感染拡大等の不測の事態により、内容を変更する場合があります。変更する必要が生じた場合は、代表者に連絡のうえ、速やかにホームページにてお知らせいたします。

※1 beyond2020 プログラムとは

政府は、2020年以降を見据え、日本の強みである地域性豊かで多様性に富んだ文化を活かし、成熟社会にふさわしい次世代に誇れるレガシーを創り出す文化プログラムを「beyond2020プログラム」（以下、「beyond2020」という。）として認証し、日本全国に展開します。

beyond2020は、国や地方公共団体等の公的機関に加え、非営利団体、商工会議所、民間事業者等日本全国の幅広い関係者が参画し、オールジャパンで統一感をもって推進し、日本全国の盛り上げを図っていくものです。

beyond2020の認証を通じ、障害者にとってのバリアや日本を訪れる外国人にとっての言語の壁を取り除き、すべての人が参画できる社会に向け、企業等の行動に変革を促していきたいと考えています。

beyond2020として認証した活動にロゴマークを付与することで、主催する団体や目的、内容も異なる様々な活動が、こうしたbeyond2020の理念を共有しているというメッセージを届け、

beyond2020の活動が広く国民の皆さんに認知されることを目的とします。